

職場の人権ビデオ・DVD

番号	題名	内容	媒体	時間(分)
441	ハラスメントの裏に潜む無意識の	無意識の偏見や思い込みのことである「アンコンシャス・バイアス」は誰もがもっているものです。「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことが大切であると学ぶ教材です。どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容です。	DVD 2023	24
440	人権のすすめⅡ (職場における困りごと)	テレワーク時代のコミュニケーション編(8分)、アンコンシャス・バイアス&マイクロアグレッション編(7分)、心理的完全性編(9分)の3つで構成されている。テーマはハラスメント、多様性、人材育成・マネジメントでミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題を学んでいく教材です。	DVD 2023	24
439	人権のすすめ (職場のハラスメント・性・障がい者)	ハラスメント編(8分)、いろいろな性編(8分)、障がい者編(9分)の3つで構成されている。テーマはジェンダーハラスメント、性のあり方、無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)でミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題を学んでいく教材です。	DVD 2022	25
437	職場のコミュニケーションスキル ②アサーション 伝え方	いきいきと働くためのコミュニケーションシリーズで、職場のコミュニケーションスキルの一つである上手な気持ちの伝え方のアサーションについて事例を交えて学ぶ教材です。(4つの自己表現タイプ)	DVD 2022	25
436	小さな歩みを見つけよう ～職場の人権気づきポイント集～	ある会社の人権啓発室のメンバーが社内外の取材をもとに8つの再現ドラマを作り、社内特設サイトで公開。社内のチャットツールを通して集まった感想コメントを受けて、多様な人権への気づきを探していきます。多様な働き方のヒントになります。	DVD 2023	24
423	介護離職を乗り越える～ある企業の取り組みに学ぶ～	介護離職者が出ることで受ける企業の損失を訴えながら、介護者が働きやすい職場作りを実践している2つの会社の事例と共に、具体的な取り組みを紹介し、職場全体で「多様性の受容」「社員同士の支え合い」の気持ちを持つことで、制度や取り組みが浸透する企業風土の大切さを訴えます。	DVD 2020	25
422	職場のハラスメント再点検 あなたの理解で大丈夫ですか？ ②セクシュアルハラスメント編	身近に起こるような事例を元に、それがなぜセクハラなのかを考える教材です。セクハラやジャッジのポイント、写真を社外に送信する新人、女性同士のセクハラ、アンコンシャス・バイアスによるセクハラ、疑似恋愛型セクハラ、LGBTへのセクハラ	DVD 2019	25
421	職場のハラスメント再点検 あなたの理解で大丈夫ですか？ ①パワーハラスメント編	加害者たちはハラスメント問題の本質を理解していないためにハラスメント行為に至ることから、そうした人たちの理解促進のため、加害者の目線を取り入れて事例を展開しています。また被害者の訴えも見せることで、加害者との意識の差を再確認することができる教材です。	DVD 2019	27
413	ハラスメント・しない、させないための双方向コミュニケーション	双方向のコミュニケーションがハラスメント防止にとって重要なポイントになるという視点のもと、ハラスメントの入り込む余地を与えない、新しいコミュニケーションの形を提案します。	DVD 2019	26
410	メンタルヘルス セルフケア&ラインケア	セルフケアを中心に、ラインケア、ストレスの基礎知識、ストレスコーピング、職場のメンタルヘルス対策等について、イラストやデータを豊富に盛り込んでわかりやすく解説しています。	DVD 2018	21
409	公正な採用選考が企業にもたらすもの	公正な採用選考の意義や、公正さをいかに守っていくかなどについて、具体的な事例をふんだんに盛り込み、企業の採用担当者の目線でわかりやすく描きます。	DVD 2018	25
407	わからないから、確かめ合う ーコミュニケーションー	ハラスメントや差別的取扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に取り上げ、それらに共通する解決策として、「コミュニケーション」を提示しています。	DVD 2018	29
399	☆その人権問題 わたしならどうする？ 会社編	職場におけるセクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、精神疾患などをテーマに、さまざまな人権問題を通して、もしも登場人物の立場になったら自分はどう行動するかを考えます。	DVD 2015	18
398	☆人権啓発は 企業にどんな力をもたらすのか	企業に働く人が人権の視点を取り入れて仕事に関わっていくことが、企業にどんな力をもたらすかということ、ドラマ形式で事例を取上げながら考えます。(ハラスメント、障がい者、外国人、LGBT、ワーク・ライフ・バランス)	DVD 2017	25
387	マタニティハラスメント 女性が安心して働ける職場環境に	マタニティハラスメントの言動と対応、さらには具体的な防止対策についてイラストやデータも用いてわかりやすく解説しています。マタニティハラスメントの実態を正しく理解し、働きやすい職場環境をつくるのが大切です。	DVD 2016	20
386	フェアな会社で働きたい	企業がさまざまなステークホルダーの人権を尊重することは、現代の企業にとって必須のことであり、またそのための社員教育も重要になっています。人事部の新入社員の体験をドラマにして、公正な採用選考をはじめとする企業における人権のあり方について学びます。	DVD 2015	25
385	心のケアと人権 職場編	人事異動後うつ病に罹った主人公に対する周囲の姿を描きながら、うつ病の社員への周囲の配慮と対応の仕方や、必要な職場環境のあり方を考えていきます。	DVD 2011	22

379	モップと箒 —大阪発の障がい者雇用—	清掃業務を通じて約一年間の就労訓練を行う「大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合」の様子を描いたドキュメンタリー作品です。	DVD 2011	30
378	あだちファクトリー物語	あだちファクトリーは産業廃棄物の処理を行う大谷清運(株)の中間処理施設の一角にあり、専門の知識を持った支援員とともに、知的障害や精神障害のあるメンバーが缶やペットボトルの分別作業を行っています。	DVD 2012	50
377-1 377-2	企業活動に人権の視点を CSRで会社が変わる・社会が変わる	CSRと人権課題に積極的に取り組まれている企業の実践事例を、分かりやすくまとめたものです。取り上げている事例は、障がい者雇用、高齢者雇用、ワーク・ライフ・バランス、継続的な震災復興支援、人権に関する社会貢献の5つです。各事例では、企業の経営者や従業員などにおける実際の取組の様子や地域の人々の声などを紹介しています。	DVD 2015	1事例 14～ 18
372	会社が変わる！ワーク・ライフ・ バランス経営 ～未来を視野に入れた企業経営 のために～	ワーク・ライフ・バランスを実践している企業を紹介します。 ・仕事の効率化で残業時間を大幅削減 ・イキイキと働ける職場づくりで優秀な人材を獲得し定着させる ・男性の子育て応援で仕事のやる気がアップ	DVD 2014	14
368	公正な採用選考	職場でありがちな採用選考に関わる事例を短くとりあげ、公正採用選考の基本的な考え方を学びます。悩める3人の採用担当者が、講師のレクチャーを受けながら考え、学び、語り合うスタイルで、わかりやすく公正な採用選考を読み解いていきます。	DVD 2013	26
358	くらしの中の人権問題 会社編	会社でのセクシュアルハラスメント・パワーハラスメントのシーンをドキュメンタリー形式のドラマで描き、対立する両者の意見について考えます。	DVD 2011	20
356	今、地域社会と職場の人権は	「増え続ける高齢者」「子育てする女性」「パワ・セク・ハラスメント」「同和問題」に視点をあて、だれもが地域と職場で、自分の持っている能力や個性を發揮し、生きがいを持って働ける環境づくりの大切さを問いかけています。	DVD 2010	36
351	人権のヒント 職場編	ごく普通の会社員の日常を描きながら、日頃は気がつかない「人権のヒント」を探り、職場のなかで私たちが考えるべき人権問題について提起する。	DVD 2010	22
350	私が私らしくあるために	職場で、それぞれが忙しさのあまり、相手の立場や状況への配慮が欠け、人間関係のもつれから大きな仕事に失敗する。このことから、職場の状況に気がついた上司が契約社員の助言をヒントに社員へ働きかけをし、職場が一つにまとまっていきます。	DVD 2009	26
341	公正採用選考のこころ	女性への偏見や、年齢を問わない採用、部落差別問題など採用選考担当者にとって十分な公正採用選考のための情報を幅広く取り上げること狙っています。	VHS 2008	25
336	パワーハラスメントと人権	パワハラは個人の問題ではなく、組織・社会の問題です。	VHS 2008	20
334	職場の人権 ～相手のきもちを 考える～	社員相談室・新人相談員が、職場で起こる様々なトラブルや悩みに遭遇することにより、“相手のきもち”を考えることはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てて描いた作品です。	VHS 2008	27
317	働きやすい職場をめざして ～心の健康と人権～	職場で、うつ病を中心とするこころの病にかかる人が増えています。主な原因として、職場での人間関係によるストレスが挙げられています。いきいきと働きやすい職場にするためにどのような対応が必要なのかを人権の観点から解説します。	VHS 2007	25
315	防ごう！パワーハラスメント	現在、企業内の人間関係は、終身雇用の崩壊や職場環境の多様化により以前にも増して一段と難しくなっています。そんな中、人間関係のもつれから陰湿ないじめへと発展するケースとして、最近注目を集めているのが、パワー・ハラスメントです。	VHS 2006	20
313	企業に求められる人権意識とは？	この作品は、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起するものです。	VHS 2006	24
312	セクシャル・ハラスメント ～しない、させない、許さない～	目に見える従来型のセクハラではなく、改正男女雇用機会均等法施行に伴い、同性間や女性から男性へのセクハラなどに対応するなど、新しいタイプのセクハラ防止についてミニドラマとナレーションの二部構成で解説。	VHS 2006	24
289	心の壁	企業でも人権意識を高める啓発活動が行われている。同和問題研修推進員になった主人公が、企業や社会に残る差別意識や偏見のなかで苦悩する。揺れ動く心の中で自らの意識を変革し、職場の意識も変えていこうとする手掛かりを提供する。	VHS 1991	54
276	輝ける日々へ	社会へ飛び立とうとする少女の差別的厚い壁が立ちふさがる。公正な採用、就職差別の現実、同和研修のあり方などがポイント。	VHS 1993	42

275	1992 辞表	女性の専門職として、入社直後から日常的に繰り返し聞かされる差別言葉は、希望に燃えていた秀美の心を徐々に萎えさせていった。	VHS 1992	38
250	パワー・ハラスメントとは何か	パワーハラの基礎知識からパワーハラを生まない職場づくりのコツ等をドラマ仕立てで解説する。	VHS 2004	20
225	旅立ちの夏	就職した美華に、高校の後輩が同じ会社を希望していると伝える。高校では、両親の離婚による面接での不安を持つ健一母子に会う。公正な採用と選考について考える。	VHS 2000	49
217	職場の男女差別をなくそう	1986年の男女雇用機会均等法の施行に伴い、以前は就業が禁止されていた職場へも女性が進出しています。例えば、建設現場でクレーンのオペレーターとして働く女性も出てきました。	VHS 1998	28
210	均等法改正と男女共同参画のこれからの男と女の「常識・非常識」	弁護士・福島瑞穂さんと滋賀県の男女共同参画を進める中村みどりさん、伊藤公男さんの3人が熱く語り合います。	VHS 1997	43
209	気づくことがはじめの一步 ~男女共同参画社会を気づくために~	意識の底にある考え方に視点を当て、性別にとらわれることなく対等に認め合い、助け合っていく社会をつくるために、まず、地域や家庭からそれぞれの意識の変革が大切。	VHS 2003	27
207	桂文福の巷話 男と女のお断り~	家庭編・仕事編・地域編の3つのドラマを通して、ジェンダーについて提起し、男女にとらわれず、個性を生かし、可能性を求め、共に責任を担う社会をつくるためにはどうあるべきかを考えます。	VHS 2001	23